



6年生の卒業式がいよいよ今週末に迫ってきました。小学校生活の最後、一日一日をしっかりと送っています。在校生も心を込めて送り出し、6年生の後を引き継いでいこうとしています。

## 「ひびけ！ 離れていても 542 人分の想い」 6年生を送る会開催



【感謝の言葉とエール】

「中学校に行ってもがんばってください」と感謝の言葉とエールを送りました。1年から5年は教室にいて、その様子をリモートで切ない思いで見守りました。

「6年間の思い出ショー」が始まり、仲間の姿が現れると、笑い声や「おお」と感嘆の声が漏れたりしました。当時のことを昨日のことに思い出しているようでした。続いて、1年から5年まで関わった先生たちが次々とスクリーンに現れ、6年生にメッセージを送りました。6年生の子たちに変わらぬ思いをかける先生たちの言葉を聞いて「英語のゲームは盛り上がったね」「ミニコンサートの歌声は涙を誘ったんだ」「安間先生、大きかったな」「中学校に行った先生たちが待っていてくれる」、・・・子どもたちは、さまざまな思いを呼び起こされたようです。



【6年間の思い出ショー】

2月25日(木)に6年生を送る会を在校生が開催しました。3密を避けるために、体育館に集まった6年生に在校生の学年代表が順番に「学校を支えてくれてありがとう」「立派な姿を見せてくれてあり



【6年生から在校生へ】

なお、この会を企画し、準備したのは、5年生の児童会役員と学級委員でした。1年から5年の先生に学級で感謝の言葉を考え、手紙を書いてもらうようお願いしに行ったり、スライドショーやビデオを編集したり、司会進行の言葉も自分たちで考えたりしました。心温まる会にするために全力で取り組んでいました。



【「ココロの落書き」を熱く歌う】

全校児童が同じ場所に集まって、想いを共にすることは叶いませんでしたが、互いの想いを受け取り合うことができました。そして、最後に6年生が「ココロの落書き」を歌い、感動の余韻を残しました。

## 新しい花壇とフェンスが完成



正門入ったところに新たにメイン花壇をつくりました。先日は、栽培委員会の子どもたちが協力して、パンジーの苗を植え、辺りが一気に華やぎました。花壇は、古い枕木とレンガを使い、とても落ち着いた感じになって花がとても映えます。現在、新しい花壇の名称を募集しています。どんな名前が付くか楽しみです。また、正門入って正面と左側にフェンスが出来上がりました。

### 【メイン花壇と瓦のフェンス】

筒状の型の素焼きの瓦を積み上げたもので、高浜らしさを醸し出しています。正門入って右側は、昔から高浜小学校にあった石碑や銅像を集め、メモリアルエリアとしました。高浜小学校の歴史と文化を感じることができます。由来も表記しましたのでご覧ください。



### 【石碑とその由来を表記したパネル】

## 6年生卒業記念「陶壁」取付完了



### 【隣とそろえながら慎重に】

そろったとき感動が起こったそうです。

粘土の板は、乾燥させた後、市内の瓦屋さんの窯で焼いてもらいました。先日、それを1枚1枚取り付けました。文字がはっきりしていて、自然と目がそちらのほうに向き、高浜小学校の新しいシンボルになります。陶壁は、卒業式前に在校生に正式に引き渡たされます。

6年制が卒業制作として、昇降口を飾る陶壁づくりに励みました。1月に卒業生103人で手分けし、一人1枚の粘土に板に文字や絵を彫りました。隣とのつながりを何度も何度も確かめながら慎重に彫り進めていました。中には、画数の多い漢字や校章を彫る子がいて、とても難しかったと思いますが、果敢に挑んでいました。彫り終わった後、105枚を順番に並べていき、すべてが



### 【取り付ける鬼師さんと6年担任】

## 全校集会での表彰について

学校内外での子どもたちの表彰を全校で祝うために、これまで全校集会で表彰してきました。しかし、表彰の数が多く、全校集会が授業時間に食い込むことがありました。そこで、残念ながら、全校集会で表彰するのは、小学校と教育委員会の表彰に限らせていただきます。ただし、学校に届いた表彰については、これまで通りたより等で紹介します。ご理解をお願いします。

(文責 中川健二)